

松陽便り 第119号	とりで スクール・アートフェスティバル2020 毎日新聞に掲載
------------	------------------------------------

とりで スクール・アートフェスティバル が毎日新聞で紹介されました。

毎

県の魅力 かるたで表現



取手市内の全ての高校7校による合同作品展が、同市新町の取手ウェルネスプラザで開かれている。絵画や書をはじめ、県内の魅力をかるたで表現した独創的な作品など、力作約100点が並ぶ。24日まで。

「茨城かるた」は県立取手の町取手市。「う」は美しくなるため食べる納豆を。「ち」は「ちゃん」と鼠抜き輪の餅。「ほ」は「干し芋はシンプルなのに美味しいな」。

富樫さんは「茨城は魅力度ランキング最下位と言われているので、名産や名所が分かるものを作りたかった。かるたなら絵と文字で説明できる」と話す。

【安味伸一】

取手市内の全ての高校7校による合同作品展が、同市新町の取手ウェルネスプラザで開かれている。絵画や書をはじめ、県内の魅力をかるたで表現した独創的な作品など、力作約100点が並ぶ。24日まで。

手松陽高2年、富樫あやのさん(17)が制作。県内の特産品や名所を絵札と読み札で紹介している。友人や教員、インターネットから情報を集めた。

例えば、「あ」は「アートの町取手市」。「う」は「美しくなるため食べる納豆」。

取手7高校合同作品展

24日まで 絵画や書など100点



会場には感性豊かな作品が並んでいる

人チームはトートバッグを出展。バッグ本体は既製品だが、独自に考案したキャラクターをシルクスクリーンで印刷したという。

作品展は「とりでスクール・アートフェスティバル」のメイン企画。フェス生徒実行委員長の取手松陽高3年、小林桃香さん(18)は19日の開会式で「普段の学びの成果を知っていただきたい」とあいさつした。

